

# なすしおぼら ボランティアセンター情報誌

令和2年3月20日号

## とんぼの会収集活動報告 アジア学院へ寄付しました！！



▲「アジア学院の皆さん（後列）」と「とんぼの会の中村さん（左）と松本会長（右）（前列）」

那須塩原市高校生ボランティアグループとんぼの会では、ボランティア活動の一環として未使用切手や使用済み切手、未使用ハガキ、書損じハガキ、外貨コイン・紙幣などの収集活動を行っています。

2月9日（日）メンバー6名がこれまでに集まった収集物の整理を行いました。そして、2月13日（木）3年生の松本希優<sup>みゆ</sup>会長と中村由佳莉<sup>ゆかり</sup>さんが、アジア学院を訪問し、収集物を寄付しました。アジア学院の皆さんには、「こんなに沢山！すごい！！」と大変喜んでいただけました。

今回寄付させていただいた分の詳細は、3ページに掲載してあります。



▲収集物の整理をするとんぼの会のメンバー

# 那須塩原市高校生ボランティアグループとんぼの会 第32代会長 松本さんにインタビュー



とんぼの会 第32代会長  
松本 希優 さん  
黒磯南高等学校3年

「とんぼの会」は、昭和63年設立の高校生ボランティアグループです。那須塩原市を拠点に活動しており、地域イベントの手伝いなど様々な活動をしています。市内の高校の他、矢板市やさくら市の高校など色々な高校の会員で活動しています。今回は、第32代会長の松本希優さんが、とんぼの会を卒業する3年生を代表して、インタビューに答えてくれました。とんぼの会やボランティア活動について色々な話をたくさんしてくれたよ♪



## とんぼの会入会やボランティアを始めようと思ったきっかけはなんですか？

中学生の頃に授業の一環でボランティア活動があり、もともと興味はありましたが、踏み込めずいた高校1年生の冬に部活の先輩から誘われ、それを機にとんぼの会に入会しました。

## 印象に残っている楽しかった活動や辛かった活動はありますか？

辛かった活動は、ほとんどありません。どのボランティアも楽しい活動ばかりでした。1番印象に残っている活動は、いじめ防止寸劇\*です。自分たちの勉強にもなりましたし、『演じて、見せる』という他のボランティアとは違う活動ができ、とても良い経験ができたと思います。

\*とんぼの会が脚本から独自に作り上げたいじめ防止の寸劇

## 将来の目標（進路や夢など）を教えてください。

卒業後は、東京の専門学校に進学します。新しい場所でのスタートで、初対面の人と関わることも増えますが、ボランティア活動で培ってきたコミュニケーション能力を活かして早く馴染んでいきたいです。

## とんぼの会入会やボランティア活動を始めようと思っている人に一言お願いします。

ボランティアをやってみたいと思っても、なかなか一歩を踏み出せない人もいます。最初は、知らない人たちとの間での活動で不安なこともたくさんあります。しかし、一緒に活動するメンバー達はみんな優しく、そして個性豊かな人たちで溢れています。人とのコミュニケーションが苦手な私でもすぐに馴染めました。自分のやりたい活動を自分で選ぶことができるのもとんぼの会の良い所です。他の学校の人たちと色々なボランティアをできる機会はあまりないと思いますので、ボランティアに興味がある人、気になっている人はとんぼの会にぜひ参加してみてください。『やってみたい』と少しでも思っているなら、その気持ちを絶対に無駄にしないでください。必ず自分の中で何かが変わるはずですよ。

## 「とんぼの会」令和2年度会員募集！

『とんぼの会』は、ボランティアに興味・関心がある高校生、ボランティアをやってみたい高校生であれば誰でも入会できます。

※主な活動は、託児ボランティアの参加、子どもたちとの交流活動、いじめ防止寸劇、市や地域のイベント等の協力、定例会、会員同士の交流会などです。

※那須塩原市社会福祉協議会が事務局になっています(^)/お気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ先】ボランティアセンター本所 ☎0287-47-6700 担当：植野





# ひまわり子どもクラブ～カラフルな凧ができました～



毎月第3土曜日 11時から稲村公民館にて那須塩原市生活学校の主催で子ども食堂「ひまわり子どもクラブ」が開催されています。代表の大内さんは「誰かが動かねば社会は変わらない」と環境問題や少子高齢化、フードドライブなどの社会問題に取り組んでおり、食を通じて子ども達の居場所や憩いの場になることを目的に3年前から始めました。子どもクラブではカレー、デザート、スープが用意され、1月18日の子どもクラブには地元の児童23人が集まりました。



子どもクラブでは毎回様々なプログラムを企画しており、この日は、稲村地区民生委員の時庭さんが、参加している子ども達に『こま作り』と『凧作り』を教えました。使用済のCDにビー玉とエコキャップを付けたコマとポリ袋にストローを固定した凧に、シールを貼ったりカラーペンで色を付けたりにしてカラフルに仕上げていました。



「完成した凧を早くあげたい！」と外に飛び出していった子どもたちは、寒い風が吹く中、元気に走り回り凧をあげていました。「もっと高く上がれ！！」と声をあげ、大いに盛り上がりました。参加した児童からは「すごく楽しかった。ご飯もみんなで食べると楽しいね。」とっていました。





# 「民話いろいろの会」

## ～ケアハウス那須で民話披露～



「民話いろいろの会」が、1月31日（金）ケアハウス那須で昔話や民話を披露しました。この日は、5人のメンバーで訪問し、一人ずつ選んだ話を披露しました。話を聞いている皆さんは、真剣に耳を傾けている様子でした。「ずっと話を聞いていると疲れてしまうでしょうから・・・」と、語りの中には「一羽のニワトリ散歩して」の手遊びを入れたり、最後には「2020音頭」でレクダンスをしたり、手をつないで「りんごの唄」を一緒に歌ったりと、聞いてくださる方々を楽しませました。明るい笑顔で活動している「民話いろいろの会」のメンバーがとても印象的でした。最後には「ありがとう！」と拍手が起こっていました。



▲「爺さまの湯治」を語る松本さん



▲「親孝行な娘」を語る鈴木さん



▲「月見草の嫁」を語る櫻岡さん



▲手遊び♪「一羽のニワトリ散歩して」



▲「正月の神様」を語る宮原さん



▲「節分と鬼」を語る徳井さん



▲「2020音頭」でレクダンス♪



▲最後は「りんごの唄」で大盛り上がり！



▲この日活動に参加した「民話いろいろの会」の皆さん



# 『発達支援講演会』の託児ボランティア



▲三島公民館託児室にて



▲おもちゃを使って一緒に遊びましょ♪

ボランティアセンターでは、元保育士、子育て経験者や子どもが好きな方たちで、子育て中の方が色々な活動に子ども連れでも参加できるよう、お子さんをお預かりする一時託児のボランティアを行っております。

今回は2月1日(土)、那須塩原市と市教育委員会の主催で『発達障害を理解する～子どもの将来のために今私たちが出来ること～』が三島ホールで開催され講演中の託児ボランティアをしました。託児は三島公民館の育児室にて行われ、個人ボランティアの方6名と高校生ボランティアグループ「とんぼの会」の2名が参加しました。託児のお子さんは14名でした。初めはお母さんから離れて泣いてしまう子もいましたが、最後にはボランティアの方と沢山のおもちゃで楽しく過ごすことが出来ました。子育て世代のお母さん達も、安心して講演会に参加することができました。ボランティアセンターでは、一緒に活動してくれる方を大募集しています。子育てが落ち着いた方や、子どもが大好きな方、興味がある方など大歓迎！ボランティアセンターまでお気軽にお問い合わせください(\*^-^\*)。

## 「ボランティアセンター交流会」～安心！終活セミナー第2弾～ 私らしく生きる「このあとどうしちゃう」&「いきているあいだはどうしよう」



▲阿久津恵美子氏の講話の様子



▲グループごとに自由におしゃべり

2月20日(木)、西那須野会場では今年度4回目となる「ボランティアセンター交流会」が、ボランティアセンター本所で行われました。今回の交流会は、那須塩原市社会福祉協議会とボランティアセンター登録団体『ちいきカフェ“円と縁”』の共催での開催となりました。まず、『私らしく生きる』と題した講話を『ちいきカフェ“円と縁”』のメンバーでもある阿久津恵美子氏が講師を務め約1時間半行われました。ユーモアを交えた講話に、参加者は引き込まれていました。私の人生グラフを書いたり、これまでの人生を振り返りながらこれからをどう生きるかを考える時間があり、参加者からは、「今後の生き方の参考になった」などの感想を聞くことができました。講話の後は、6グループに分かれそれぞれの活動などを自由に話していただきました。初めは、「何を話せば・・・」という方もいましたが、すぐにグループごとに話が盛り上がっていました。

今年度の「ボランティアセンター交流会」は、全て終了いたしました。次年度も様々な内容の「ボランティアセンター交流会」を開催いたしますので、楽しみにしててください。

## 《ご案内》 令和2年度ボランティア活動保険のご案内

近年地域で活躍するボランティアや日本各地で起きている自然災害での災害ボランティアの活動が増加しております。

それに伴いボランティア活動中の事故の発生も増加しております。

当社協も皆様が安心してボランティア活動が行えるようにボランティア活動保険の加入手続きについて一部見直しを行いました。(ボランティア行事保険や各種サービス補償の加入手続きも一部見直し)

令和2年度のボランティア活動保険に加入を検討している方は、ボランティアセンターへの登録や活動内容の届け出が必要となるなど今までと加入方法や条件が変更となっております。

保険のご加入や、保険についての詳細は、ボランティアセンター本所、ボランティアセンター黒磯又は社協塩原支所までお問い合わせください。

### ◆ボランティア活動保険ご加入いただける方

ボランティアセンター登録者・登録団体

### ◆ボランティア活動保険の補償を受けられる方

ケガの補償の場合…ボランティア個人

損害賠償の補償の場合…ボランティア個人・ボランティア監督義務者・NPO法人

### ◆ボランティア活動保険の対象となるボランティア活動

日本国内における、自発的な意思により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動でボランティアセンターに登録し、届け出されている活動が保険・補償の対象となります。

### ◆補償期間

加入手続き完了日の翌日午前0時から令和3年3月31日午後12時まで

### ◆保険料(年間/1人)

タイプ	基本タイプ	天災タイプ
年間保険料	350円	500円

※これまでの4プラン(基本タイプA・B、天災タイプA・B)から2プラン(基本タイプ、天災タイプ)になりました。

※天災タイプは、天災(地震・噴火・津波)によるケガも補償



## 《ボランティアセンター登録についての質問》

Q ボランティアセンターに登録したいのですが誰でも登録できますか？

A 下記のとおり、ボランティア活動をしている方、ボランティアをはじめたい方など、どなたでも登録できます。

ただし、ボランティアセンターの登録者・登録団体には、災害など有事の際には協力要請をしますので出来る範囲でご協力いただきます。

**個人登録**…「自発的な意思により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動」をしている方または活動をはじめたい方

**団体登録**…①「自発的な意思により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動」をしている任意の団体

②既存している団体としてボランティアセンターに登録し、ボランティア活動や地域福祉サービスを行う団体

※NPO法人、社会福祉法人、学校法人、地方公共団体、社団法人、医療法人など

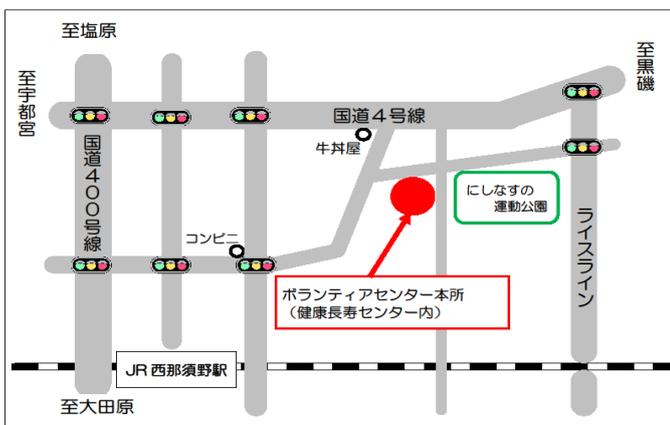
③ボランティア活動以外の目的で作られた団体(自治会・PTA・老人クラブ)の中から自発的な意思により組織されたボランティア活動を行う団体

※営利企業(株式会社、有限会社など)が、事業や社員への強制や業務ではなく、社員の意志で行うボランティア支援であれば営利企業名で登録できます。



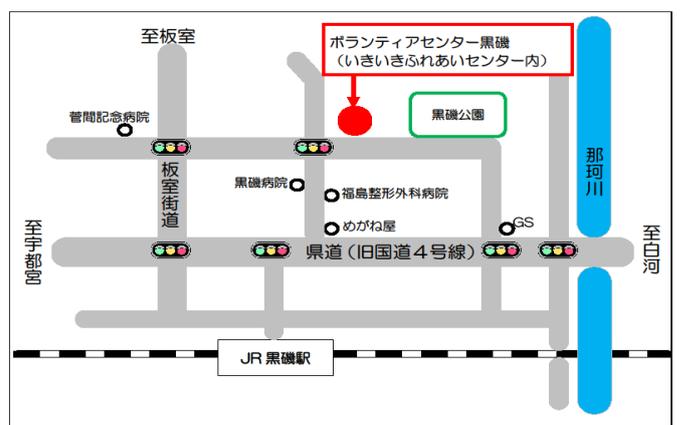
団体名	団体の概要	
ファミリープラスバンド マムソウル	自分が演奏を楽しむ。 そして、訪問演奏で地域の皆さんとつながろう！吹奏楽の楽しさを伝えよう。	
こども“夢”くらぶ	子どもの居場所づくり、成長支援及び世代間交流。	

### 【ボランティアセンター本所】



住所：那須塩原市南郷屋5-163  
健康長寿センター内  
電話：0287-47-6700  
FAX：0287-47-6690  
Eメール：[v.center@ns-shakyou.jp](mailto:v.center@ns-shakyou.jp)

### 【ボランティアセンター黒磯】



住所：那須塩原市桜町1-5  
いきいきふれあいセンター内  
電話：0287-73-0073  
FAX：0287-73-0073  
Eメール：[k.vcenter@ns-shakyou.jp](mailto:k.vcenter@ns-shakyou.jp)

### ボランティア活動実績

1月	イベント	3件	15人	2月	イベント	2件	7人
	託児	0件	0人		託児	1件	8人
その他	0件	0人	その他	1件	3人		
合計	3件	15人	合計	4件	18人		

### ボランティア登録数（2月29日現在）

団体	個人
81団体	96人



発行：社会福祉法人那須塩原市社会福祉協議会  
ボランティアセンター本所 TEL 0287-47-6700 FAX 0287-47-6690  
〒329-2705 那須塩原市南郷屋 5-163（健康長寿センター内）  
Eメールアドレス [v.center@ns-shakyou.jp](mailto:v.center@ns-shakyou.jp)  
ホームページアドレス <http://ns-shakyou.jp/>  
★メール、FAX、お電話で皆さまの感想や情報をお寄せください。

